

Contents *親切大家さん特集

親切大家さん[®]

オーナー様向け

シニア世代特化サービス
親切大家さんは
オーナー様や
大家さんの
強い味方!!

高齢者受入
サービス
start!!

賃貸市場に高齢者受入れの門戸を開こうとチャレンジを始めた2015年から早2年。ついに高齢者受入の新サービスが商品化しました。その名も「親切大家さん」。いよいよリリースです!

今月号は、この「親切大家さん」の特集号としてお届けします。

『親切大家さん』開発の背景

①高齢者の住まいの問題

例えば、孫の顔をいつでも見られるようにと息子夫婦の住まいの近くに移住を考えた場合、新たに住まいを購入することもできませんが、資金面から賃貸マンションを利用することも有効な選択肢になると考えられます。

しかし、いざ賃貸マンションを探し始めると気が付きますが、65歳を越えると「高齢者」扱いされ、極端に貸し出される賃貸の住まいは少なくなります。かといって、高齢者にも供給されている公的なUR賃貸はまったく数が足らず、高齢者の需要に追いついていません。その他、サービス付き高齢者住宅を利用しようにも、元気な方は対象にならないなど、高齢者に対する賃貸市場の門戸はほぼ閉ざされた状態にあるといえます。

②賃貸市場の空室率の問題

空き家が問題視されるなど、賃貸市場の空室率が話題に上ることも増えています。

その原因のひとつは少子高齢化です。

全国の賃貸住宅の空室率は約19%となり、大阪に至っては約20%と年々悪化の一途をたどっています。少子高齢化はこれからますます進行することは明らかです。賃貸の空室率は今後も悪化していくことになります。

ただ見方を変えれば、少子高齢化の実態は、人口は減っているのは事実ですが、減っているのは若年人口であって高齢者人口は増え続けています。空室率に頭を悩ませている賃貸市場が、増え続けている高齢者人口に目を向けないことはおかしな話です。

高齢者の賃貸需要と賃貸市場の空室率の問題を併せ考えると、高齢者の賃貸需要を放置することは、実にもったいないこととなります。「積極的に取り組むことで空室率の問題を解決に導くことができるのではないか?」

そんなこんなで「親切大家さん」の開発がスタートしました。